

金沢市立富樫小学校

児童数 419名

テーマ 地域と関わり、思いやりの心を育てる

1. 福祉教育のとらえ方について

校区には筍の産地の山があり、川も流れ、自然環境に恵まれている。住宅地や商店も多く、転勤で移住する家庭も多い。

図書ボランティア、スクールサポート隊、見守り隊など、保護者・地域が学校にとっても協力的である。

本校の近くには、ろう学校があり、長年交流をしてきた。1年を通して、ろう学校の児童と関わり、交流を深めている。

2. 主に取り組んだ活動について

(1) ろう学校の児童との交流

① よろしく交流交歓会



6月にろう学校の児童と富樫小学校の児童の顔合わせの会を行った。前半は、体育館に全校児童が集まり、ろう学校の児童の自己紹介、手話で歌の交流を行った。後半は、各学年に分かれ、交流を行った。

② クラブ活動

クラブ活動のうちの1つをろう学校で、ろう学校の児童と一緒にしている。年によって、バドミントンクラブ、卓球クラブなど違うクラブで、異学年との関わりがあり、どちらの学校の児童も楽しんでいる。

③ 1年生との交流

「秋のおもちゃやさん」に招待した。実行委員がめあてを決め、司会をしたり、はじめの言葉を言ったりして、ろう学校のお友だちに楽しんでもらえる計画した。



④ 2年生の交流

ろう学校に招待してもらい、校内を案内してもらった。手話を交えながら、教室の説明をしてくれたり、エレベーターに点字があることを教えてくれたりした。耳が聞こえない子の体験をすることができる部屋があり、児童の思いを体験することができ、生活の中での困難な状況を理解することができた。補聴器の体験もあり、聞こえないからと言って大きな声で話せばいいのではなく、声の大きさを考えなければならないことを理解することができた。

⑤ 5年生の交流

ニュース形式でろう学校を紹介する動画を見せてもらった。その中には、先生や児童へのインタビューがあったり、教室の紹介

があったりして、楽しみながら見る事ができた。動画には字幕もあり、富樫の児童のために工夫してくれたもので、ろう学校のことを詳しく知ることができた。

⑥ありがとう交流交歓会

1年間最後の交流を行った。どの学年も、実行委員がろう学校の児童のことを考えて、はっきりと話をしたり、ゆっくり話したりするよう練習して本番に臨んだ。

⑦作品交流

図工の作品交流を行い、お互いの学校でどんな作品を描いているかを交流した。

(2) 高齢者との交流



昔遊びを通して地域の高齢者と交流を行った。地域の高齢者と民生委員児童委員がゲストティーチャーとして学校に来て下さった。けん玉は、いろいろな技を高齢者に披露する児童もいた。コマは1人1つ持っていて、休み時間などやって上手にできる子もいたので、高齢者の方々と一緒に楽しんでいた。おはじきやお手玉は初めてする児童もいて、やり方を教えてもらいながら楽しんでいる様子が見られた。一緒に遊んで下さった高齢者の方にお礼のお手紙を書き送った。高齢者の方々からは、「元気をもらった」「一緒に楽しめてよかった」ととても

好評である。



(3) 高齢者へのお手紙

社会福祉協議会からの依頼を受け、年に2回、地域の高齢者にお手紙を書いている。学校でしていることやがんばっていることを伝えている。

3. 成果・反省について

ろう学校との交流は、交流を続けていることもあり、ろう学校の児童のことを考え、準備をしたり交流したりすることができた。しかし、ろう学校の児童のことを忘れて自分たちだけで楽しんでしまう児童もいるので、目的意識、相手意識をしっかりともち、交流の仕方や活動の内容を考えていかなければならない。

高齢者との交流は始めたばかりなので、来年以降は活動の内容や関わり方など検討していきたい。また、来年度5年生の総合の学習で高齢者との交流を行うことになったので、計画をたてたり、活動内容を話し合ったりする中で、児童の意識を高めていけるようにしていきたい。